



充実のサポート体制で「ちよつと暮らし」

次の自分探しの「たび」へ…

走り続けてきた自分に。
 頑張ってきた皆さんに。
 北海道は、様々なステージをご用意できたと考えます。
 観光、週末居住、二地域居住、賃貸移住…
 色々な呼び方はありますが、何をなされるのか、どうお考えになるのか、皆様のお声に応えるための最初のステップに「ちよつと暮らし」を活用して戴ければと思います。
 思い思いの 때가刻まれ、たくさんの笑顔が弾ける…。
 そうした北海道になりたいと思います。
 次の自分探しの「たび」。北海道がお待ちしております。



北海道商工会連合会 特別推進局次長
 NPO法人 住んでみたい北海道推進
 会議総括プロデューサー
 大山 慎介

観光に訪れただけでは味わえない、北海道での日常生活を体感できるのが「ちよつと暮らし」です。
 北海道暮らしの受け入れに積極的な市町村が、一戸建て・マンション・コテージなど長期滞在可能な物件を多数用意しています。
 「興味はあるけど、どこに相談すればいいんだろう?」

くらすべ北海道ホームページ(<http://www.kurasube.com>)「ちよつと暮らし」をご覧ください。

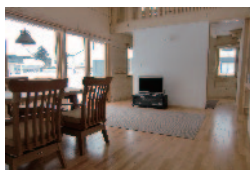
と思った方は
こちらへ

北海道移住・交流
総合案内窓口

にっこり クラスツぽかいどう へGO GO

☎011-251-1055

たとえばこんな土地で「ちよつと暮らし」。



黒松内町



■所在地:寿都郡黒松内町字黒松内 ■3LDK ■
 家賃:1ヵ月120,000円(寢具・清掃代別途、最長6ヵ月、延長可) ■問い合わせ先:黒松内町 企画調整課
 TEL 0136-72-3376

利用者の声

今回のちよつと暮らしで、この地の自然のすばらしさと田舎の不便さ、冬の暮らしの面白さと不便さを体験できました、今度はほかの季節の暮らしも体験してみたいと思います。



当別町



■所在地:石狩郡当別町スウェーデンヒルズ ■賃貸
 料金:光熱水費込み、生活用品完備/2週間~
 128,750円(夏季)、143,750円(冬季)/1ヵ月~
 170,000円(夏季)、190,000円(冬季) ■問い合わせ先:当別町 美しいまちづくり課 TEL 0133-23-3073

利用者の声

北欧型住宅約370棟が建ち並び一般住宅地に建っています。関西などから訪れる方が多く、「自然が素晴らしくウォーキングが楽しかった。生活用品が揃っていて便利。寒い冬も住宅は暖かく快適だった」といった声。

池田町



■所在地:池田町字千代田 ■3LDK ■家賃:1ヶ月:
 48,900円(電気料金・ガス料金・上下水道料金・NHK受信料を含む)※1ヶ月未満の場合、1ヶ月の料金÷30日×日数 ※灯油代・飲食費・寝具および日常生活にかかる消耗品費・交通費等は使用者負担 ■問い合わせ先:池田町役場 産業振興課 商工観光係(移住ワンストップ窓口)TEL 015-572-3218

利用者の声

統一感のある美しい街並みが印象的。観光地としても有名な「ワインのまち」です。移住体験住宅は、市街地からある程度離れた閑静な環境で、利便性が良く生活に不便を感じませんでした。住民の方も親切で、移住にあたって最適な場所だと思いました。

体験者は語る…

実際に「ちよっと暮らし」をしたKEIKOさん(埼玉県在住)

文絵：KEIKO.N

馬が好きなのもあって、北海道はあこがれの土地。イベントで「ちよっと暮らし」を知り、名馬のふるさととして名高い浦河町へ。七月から九月までの三カ月間、滞在しました。

緑豊かな市街地にある一戸建ての体験住宅(2LDK・家賃一万五千元/月)には、家具家電、調理器具や食器が備えつけられているので、荷物は身の回りの物だけでOK。

わが家で暮らしているような気分で、毎日海を見ながら自転車走らせ、おいしい手作りパン屋さんへ朝食のパン

を買いに行ったり、地元産のアスパラガスやトマトが並ぶ朝市をのぞいたりしました。港近くの鮮魚店には、とれたてのスルメイカがとっさり。初めて食べた真ツブという大きな巻き貝のお刺身も絶品でした。

牧場見学や、馬フェスタ、乗馬などで、馬にもたくさん触れることができました。コンプ漁師さんや馬の牧場主さんなど、町の方と出会えるのもロングステイならでは。

滞在中は、役場の方が、親切に見守って下さるので、安心してすごせます。

すっかり「ちよっと暮らし」のファンになり、次は、魚が一番おいしい冬に、暮らししてみたいと思っています。



困ったことがあっても、役場の方が、しっかりケアしてくれるので、心強いかぎり。(KEIKOさん)



- 毎年、東京などで「北海道暮らしフェア」が開催されています。北海道の市町村や企業団体が出展し、さまざまな情報を得ることができます。昨年の開催風景はこちらまで→<http://www.e-ijyu.jp/>
- フェアの他にも全国各地で説明会を行う予定です。詳細は、北海道移住・交流総合案内窓口(011-251-1055)までお問い合わせください。
- 気になる場所があったら、まずは下見してみましよう。いくつか回って比べてみるのもいいかもしれません。

「絵日記 北海道でくらしみよう」

KEIKOさんは浦河町での滞在記録を手作り絵日記にしています。夏の北海道暮らしの感動や発見がとて楽しくわかりやすく紹介されています。浦河町ではこの絵日記をデジタル化し、以下のホームページにPDFファイルで掲載しています。移住体験に興味のある方や、浦河町での暮らしや観光に関心がある方はぜひご覧ください。

「浦河町ホームページ」<http://www.town.urakawa.hokkaido.jp>
 ↳「移住情報ナビ」をクリック!

「二地域居住」とは、複数の地域で多様な交流を行う新しいライフスタイルで、国土形成計画(平成20年閣議決定)の中でもその推進が位置づけられています。総人口の本格的な減少が見込まれる中、こうしたスタイルは、交流人口の増加、地域の活性化につながると思われます。国土交通省の調査では、都市部を中心に人口の4割程度の希望者が存在しているとみられます。今では、多くの地域が受入・支援体制の整備に取り組んでおり、その中には、皆さまのニーズに合う地域もきつとあるはずですよ。是非、体験してみたい!

国土計画局広域地方整備政策課